



荒井塾長あいさつ



「老後は思い通りに生きられるか」

辰年の今年も最後の月、12月になってしまいました。

2024年は災害から始まりました。元日に発生した能登半島地震と日航機炎上で今年はどうなるかと正月気分になれませんでした。鎮守の森・和楽備神社へ初詣して念入りに家内安全を願いました。元日の激しい揺れで多くの家屋が倒壊した輪島市の光景は、季節が春から夏、残暑厳しい初秋～真冬と移ろいながら過ぎました。

更に、9月21日朝、豪雨で河川から溢れた濁流と流木が一気に押し寄せ、能登の実景はまたも一変しました。能登半島内の道路が損傷し復旧工事が遅々として進まない中での大水害でした。能登の人たちは厳しい冬を迎えて、大変な苦勞を為されていると思います。

若しも、この二つ、地震と水害に私が遭遇したら、厳しい冬を迎えてこの苦難を乗り切れるか自信がありません。



一方で、2024年は大谷で始まり、大谷で終わった一年でした。我が家では「信じられない」の連続でした。全てが大谷の夢の中の出来事で、「日本人で本塁打王なんて無理」、「2刀流なんて無理だよ」という大方の見方を打ち破りました。

大谷を観ていると「これまではこうだったから」という私のような古い考え方は通用しないことを思い知らされました。常識を疑って、可能性を信じて生きなければだめだとひしひしと感じた一年でした。

今年最後の明るい話は、日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がオスロでノーベル平和賞を受賞した事でした。講演されたた田中さんは92歳とは思えない元気なよく通る声で、20分間、立派に講演されました。

この一年、いろいろな出来事が有りましたが、私は何となく無事に1年を過ごすことが出来ました。何となく過ごしていても、漠然と気になっている事があります。それはお金の使い方、これからも安心出来る必要な蓄えです。果たして、自分の生き方、蓄え方は普通だったか。もっとやりたいことにお金を使うべきだったか、いや、こんな歳になっても、万一のために、病気や事故などを想定すると、この蓄えでいいのだろうかと気になってしまいます。

85歳の私が気になる老後の暮らし方、生き方について色々ネット検索していると、沢山のアドバイスが見つかりました。その中で、これだと思う、大変参考になる賢者の教えを見付けました。色々当てはまりそうなお話なので紹介致します。

- 老後のために十分な貯金がないと大変なことになるが、必要以上に貯蓄するのも問題だ。
- 貯蓄を重視しすぎていると、若いうちしかできない経験をする機会を逃してしまう。
- 長時間働いて貯めたお金も結局、効率的に使えないまま終わる可能性もある。

それじゃこれからどうしたらよいか。

人はいつ死ぬか分からない。

「何かしたいことを、いつかやろうと思っていると、いつかは来ない。

今やらないと、今日が一番若いんだから、今でしょ！」と言われそうです。

「老後は思い通りにはならないもの」と割り切って生きていくしかないのだろうか。

耳が聞こえにくくなって、好きな音楽を昔通りに楽しめない。行きたい旅も出来ない、好きな酒も飲めない。それでも生きていることに意義があるし、日々起こる出来事に興味を持って静かに暮らしてゆくだけでも、健康ならばなんとかなるだろうと考えれば、やりたいことが半分も出来なくても、誰かと会って、話すことが出来れば、それでいいと割り切って・・・などと考えても、堂々巡りしているよう日々かもしれない。

「若い内にやれる事があつたら、やった方が良い。

老後にやろうと思っけていても、老後になると出来ないことが多すぎる」—この言葉を私は今、実感しています

85歳を過ぎてしまったこれからは、出来ないことが増える中でも、何か自分で出来る事を探して、諦めずに取り組む事にしようとして新しい年を前に、悩みながら年越しを迎えます。

塾生の皆さんも、やりたいことを今のうちにやってください。

それでは皆さん、良いお年をお迎え下さい。





2024年12月19日 笑楽日塾 塾会 報告

期日 2024年12月19日(木) 17時~19時40分

会場 ベルハイツ第2 蕨集会室

出席者 八木、先崎、吉田、内田、星、高木、荒井 7名

欠席者 南、清藤、新井齊、菊地

今朝、早朝に蕨に初雪が降りました。年の瀬も押し詰まって何かと落ち着かない中で世の中の出来事、世界の出来事などを採り上げて、塾生があらゆる事に好奇心と興味を持って、「健康に過ごす」事を人生の目標にして、毎月の会合を重ねて行きたいと思います。

今夜は急に NAS ロイヤルルームが使えなくなってしまい、内田さんがベルハイツ第2 蕨集会室を手配して下さいました。来年1月16日はNASで開催致します。

配付資料

1. わらび市民ネットからの取材、合同懇親会開催について
2. 今日のトピックス
 - (1) 気候変動はでっち上げカートランプの暴言
 - (2) プラスチックゴミによる海洋汚染—釜山国際会議・170カ国参加
 - (3) 政治の世界で何がおきているか
 - (4) 米国では何が起きているか
 - (5) アヘン戦争と米国の麻薬の悩み(年間7万人死亡)

今夜のお話:

1. 嬉しいニュース

笑楽日塾・塾生吉田さんは蕨市中央一丁目旭町町会・自主防災会の会長をなさっています。長年の積極的な地域防災活動、防災訓練での優れたリーダーシップ等が評価されて、1月24日(金)埼玉県危機管理センターにおいて県知事表彰を受けることが決まりました。

2. わらび市民ネットからの取材、合同懇親会開催について

NPO法人わらび市民ネットから「笑楽日塾便の活動7年」を取材したいと申し入れが有り、1月16日(木)または2月20日(木)にNAS ロイヤルルームで懇親会を開催致します。

市民ネットから5名(女性ばかり)参加されます。

(1) プレゼンテーション:「生き生きした笑楽日塾の楽しい7年」
パワポでつづる活動の記録 「蕨市で最も元気なシニアの集まりと生き甲斐」
プロジェクターで右側の壁に映す。または正面の壁に白い布でスクリーンを貼り付ける。
白い布はシティタワー蕨から借りる。
プロジェクターは市民ネットから借りる。

(2) 展示物:

- ① 記念誌創刊号～第6号まで
- ② 公開講座特集誌 3冊
- ③ 「笑楽日塾便り」表紙のみ全部パワポに入れる
- ④ 環境問題公開講座
- ⑤ 蕨市市政施行 60 周年記念講演会特集

3. きょうのトピックス

上掲の 5 つの話題について、懇談しました。

また、新井邦夫さんが 3 月に肺がんで亡くなられた。邦夫さんは最後に、「たばこを早くやめておけば良かった」と話しておりました。その話から「たばこの吸い始めはいくつの頃だったか、たばこをやめたのはいつだったか、お酒の味を知ったのはいつ頃だったか」などそれぞれの思い出が、八木さんが持参された素敵なメロディを聞きながら語られました。

今夜も楽しかった！



次回は 1 月 16 日(木)です。開始時間を 17 時に繰り上げます。



「シニアの風」

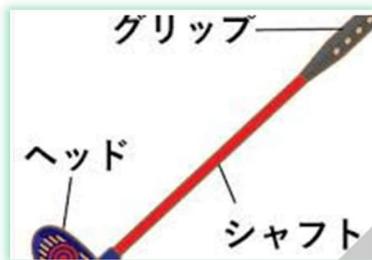
(順番制で行います。1月号は 南さんですので準備の程、宜しくお願い致します。)

「運と縁とあとは何？」

塾生 高木 輝雄

仙台に出張した。
「東日本震災復興支援、GOLF で宮城県を元気に」プロジェクト。
KidsGolf のボランティア(とはいえギャラはありました)。
前入りで、男子プロゴルフ、スターティングアナウンサーの
「宮本むさし」とご一緒。

既に顔なじみですが、前夜の一杯はお初です。まわりのスタッフ
は聞きにくいこと言うなという顔でしたが、今の職業につくきっかけが
聞きたかった私です。



むさしさん、開口一番、「運と縁に恵まれた」と言うと言いました。
彼は先般、他界された西田敏行さんと同じ劇団青年座に所属して
いましたが、
西田敏行さんの演技を見ているうちに、自分の限界を感じ始めて
いました。

私にも経験がありますが、エチュード(即興劇)はかなりのストレスもあり、精神的負担が多く
かかります。(一時期ラジオ短波放送の CM ナレーター養成講座に参加していました)

運と縁の話はここからです。

若しかしたら縁が先で運が後から湧いてきたのかも知れません。

憔悴していた、むさしさんの先輩が見るに見かねて、成功している先輩のかばん持ちを探してあげ、
勉強も兼ねて務めさせました。彼が縁と言ったのは、この時、必死で前を向き続け、やる気満々で務
めた事が認められカバン持ちさせてくれた方から、仕事の補助支援をいただいた事と言うことでした。
それが司会の手伝いや、イベントの前司会だったそうです。

むさしさんが人気のあるスターティングアナで有る事は、陰ながら拝見していて、感じていました。
第一組がスタートする前に、すでに集まっているギャラリーの方々からいただいたサイン入
りグッズを集め、クイズ形式で差し上げるなどの努力をし、ギャラリーのハートを驚掴み。
だから否応なしに盛り上がるギャラリーの方々で、選手も気合が入ります。

さて今度は運と縁を感じまくる私です。

47歳で退職、会社を作りました。

自力である団体のシステムに対するサービスを売り込みました。

まだネット時代は今ほど盛んではなく、パソコン通信の時代です。

怖いものなしで当たって砕けろでしたが、かわいそうだと感じたのでしょうか、当時の若き M 部長が声を掛けてくれました。

実は大手の IT 業者が売り込みに来ている、あなたのアイディアは良いと思うが、大手さんには勝てないでしょうと言われました。但し、M 部長率いる部隊の現状での課題をお聞きする事が出来、解決策を考える事が出来ました。

大型コンピューターを駆使して年間一億円を掛ける壮大なプロジェクトです。

先方の提案書も拝見しました。

以前に通っていた営業教育講座での知識を生かし自分にできなくても、できる人を使う事を出来ればそれも自分の能力だと言う事を思い出し元の勤務先の優秀な SE に協力を頼みました。

だめで元々、案としても提案書を出してみました。

こちらは当時 NEC の PC98 一台で問題を解決するシステムです。一億円はかかりませんが。

忘れもしません、クリスマス 12 月 25 日にその団体の事務局長様から電話があり、本当にこのようなシステムで出来るのか？でした。年末までに説明に来るようにとの要請でした。

前出の M 部長の強力なバックアップがあり、見事成約でき、思わずほっぺたをつねりました。

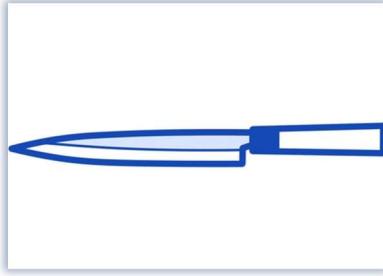
これがきっかけで今に繋がっているのですが、インターネット時代になり、大手 IT 企業の活躍で仕事がなくなるピンチがありました。

妙な運ですが、大手 IT 企業のミスや対応の不備があり、その都度ヘルプ要請があり、妙な言い方ですが、仕事にありつきました。

この時も自分の能力範囲外の仕事は埼玉県の支援で作った(自分が発起人の一人)SOHO 団体のメンバーが支援してくれました。

現在当社はこのネット関連の事業と、ビックリされますが、包丁の事業(刃物の講座運営)を営んでいます。

この事業も運が付きまとい、本来の跡継ぎが引きつかず、廃業の憂き目を引き継ぎ、現在に至っています。



もちろん刃物の知識を 20 年掛けて勉強はしましたが、運と縁なんだと思います。

この会社の常務(浅草なので番頭さんですね)が師匠です。主要な取引先との関係も運と縁の産物です。

運は時として沸いてくるものだと思いますが、縁は大切に育ててゆくものなんだと思います。

これからも縁は大切に、努力を惜しまず、運が降臨するのを楽しみに(笑)

運は縁によって鍛える

Luck is shaped by your relationships with others.



八木 守

12月になり、寒さも本格的になりました。塾生の皆様、お身体ご自愛願います。
12月に含まれる二十四節気は「大雪(たいせつ)」と「冬至(とうじ)」です。

21. 大雪 たいせつ (12/7～21 ごろ)

本格的に冬が到来する頃です。

動物たちは冬ごもりの時期に入り、各地では雪が降り積もります。鮭が川を遡る時期で、鱈など冬の魚の漁も盛んになります。



22. 冬至 とうじ (12/22～1/5 ごろ)

一年でもっとも昼が短く、夜が長い頃です。

寒さを乗りきるために、栄養価の高いかぼちゃを食べたり、柚子湯に浸かり無病息災を願います。

韮草や麦の芽が出はじめるのもこの時期で、雪の下であたたかな春をじっと待ちます。



冬至の日に柚子湯に入る風習は、江戸時代に銭湯ができてから始まったと言われていています。冬至は「一陽来復」とも呼ばれ、太陽のエネルギーが復活する日とされています。また、冬至から日が長くなるため、年の初めと見なすこともありました。

冬至に柚子湯に入る理由は、次のようなものがあります。

1. 運を呼び込む前に体を清める禊(みそぎ)の風習
2. 冬が旬の柚子の香りには邪気を打ち払うという考え
3. 柚子は実るまでに長い年月がかかるので、長年の苦勞が実りますようにとの願い
4. 「融通が効きますように」という願掛けと、冬至は「湯治」の語呂合わせ

塾生の皆様へ

2024年(令和6年)は如何でしたか？ 良い年であったでしょうか。
また病気などをして大変な思いをした年でしょうか？

私はこの時期になると「1年早かったな～」と思いながら今年はどうな1年だったろう？と、自分のなかで振り返りながら総括します。こんなことが良かった。この歳になっても成長できたと思えることもありますし、できればなかった事にしたい出来事もありますけども・・・(笑い)

占い好きというわけではないけど、それでも気になる運勢。そして来年はどんな1年になるのか？ したいのか？ 一応考えたりします。そこで気になるのが来年の運勢。



明治神宮

普段、あまり占いや運勢など気にする方ではないですが、何か区切りの時期になると、やはり良い兆しの事が書いてあれば気持ちも前向きに色々なことにチャレンジしていこうと思ったりします。意外と単純なので。

占いを信じる信じないではなく、自分のしようと思っている時に、なんとなしに目に入ってきた良い言葉が、案外、自分の背中をひょいっと後押ししてくれたりします。



昔、明治神宮にお参りに行ったことがあります。
弓道をしていた時に、5段の審査(実技、筆記)を
神宮内にある「至誠館」で的に甲矢2本入れて合格
した思い出の場所でもあります。

ご存知の方も多かもしれませんが、明治神宮のおみくじは吉・凶を占うものではなく、
大御心(おおみごころ)という、人倫道德の指針となる教訓的なものを15首ずつ、合計30首が
選ばれたものらしいです。今の自分へのメッセージ的なものでしょうか。

占いやおみくじで出た悪いことは気にせず、良いことだけを見て信じて自分のエネルギー源に
する。そうして来年1年も前向きに生きて、健康なシニアライフを充実させたいと思います。

それでは笑楽日塾の皆様、良いお年をお迎えください。



～ 続く ～